

項目	納期限 (口座振替日)
上下水道料金	8月27日(水)
個人事業税第1期(県税) 市県民税・森林環境税第2期 介護保険料第3期 国民健康保険税第3期 後期高齢者医療保険料第2期	9月1日(月)

戦後80年、平和都市宣言40年

伝える・祈る・つなぐ

広島・長崎への原爆の投下、そして終戦から80年。過去の惨禍を繰り返さず、市民の生命と安全を守るため、核兵器の廃絶を求める「平和都市宣言」を市が表明してから40年を迎えます。

それぞれの節目である令和7年度は、平和に関するイベントなどを実施する「あびこ平和の日」の開催や「平和のうた」の制作など、記念事業に取り組みます。 固 企画政策課・内線568

被爆80周年平和祈念式典

日 8月16日(土)11時～12時(受付10時30分～)

所 アビスタ※献花は平和の記念碑前

内 黙とう、献花、広島派遣中学生の報告など
※ノーネクタイでご参加ください。

問 社会福祉課・内線649

8月6日・9日は広島・長崎に原爆が投下された日、8月15日は「戦没者を追悼し平和を祈念する日」です。それぞれの日には、戦没者・原爆死没者の追悼と恒久平和を祈り、黙とうをささげましょう。

平和都市宣言

世界の恒久平和は、人類共通の願いである。しかしながら、今日なお世界の動きは、核戦争の危機をはらみ、誠に憂慮にたえない。わが国は唯一の被爆国として、核兵器の恐ろしさと、被爆者の苦しみを全世界の人々に訴え、再び広島・長崎の惨禍を繰り返してはならない。我孫子市は市民の生命と安全を守るため、いかなる国のいかなる核兵器に対しても、その廃絶を求め、ここに平和都市を宣言する。(昭和60年12月3日)

恒久平和の実現に向けて

戦争を経験された方や被爆された方が少なくなる中、市ではさまざまな平和事業を実施しながら、若い世代にも戦争の悲惨さや平和の大切さを伝えています。

令和7年度は、被爆地への中学生派遣事業で15人の生徒を広島へ派遣し、式典などの参加を通じて現地学習を行います。派遣に参加した子どもたちが講師となり、小学生に現地で感じた思いなどを伝える「リレー講座」も引き続き市内各小学校で実施していきます。

また、戦後80年・平和都市宣言40年の記念事業として、禎子鶴で知られる佐々木禎子さんの甥・佐々木祐滋さん(シンガーソングライター)に「平和のうた」を制作していただき、12月に実施する「平和の集い」で披露する予定です。恒久平和の実現のため、市民の皆さんと共に、今後も平和事業に取り組んでまいります。



市長 星野 順一郎

平和への願いを未来へ ～被爆者の思い～

日本が戦争をやめ、平和を目指し歩み始めて80年になります。80年前、戦争の惨禍をこの身に受け、生まれながらに被爆者となった私は、平和への願いを心に決めて生きてきました。

ウクライナとロシアの戦争が始まった時、私はむなしさのあまり生きていく力が抜けました。その上、イスラエルとイランの戦いまで。「どんなに下手な習い事でも80年続ければ少しは上手になるのに、世界中の人々の平和への努力だけは80年の時をもってしても実らない」と悟りました。

ですが、我孫子市には「平和の木」(※)があります。広島・長崎派遣中学生が、その木の小さな種を小学6年生の心にまいています。「平和の木」が大樹になることを祈りましょう。



▲子どもたちが書いた「平和の木」

(※)2面欄外参照

平和事業推進市民会議委員 的山 ケイ子